

第8回「原子力に関する倫理研究会」開催ご案内(案)

(社)日本原子力学会 倫理委員会

日時：2007年7月25日(水) 13時30分～17時30分(受付：13時10分から)

場所：東京大学 生産技術研究所 プレハブ棟2階(第3会議室)

(〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1)

会費：一般；5000円 / 学生；無料

<今回のテーマ> 原子力の技術倫理と情報開示・説明責任

～ケーススタディとパネルディスカッション～

<趣旨>

日本原子力学会は原子力の技術倫理のガイドラインとして、「前文」「憲章」「行動の手引き」からなる倫理規程を2001年9月に制定し、その後、数次にわたる改定を進めるとともに、会員への啓発活動に努めています。その中核となる活動は、年2回開催している「倫理研究会」です。2003年11月にスタートし、今回で8回目になります。

今春、過去の原子力発電所の事故で公表されていなかった事実が相次いで明らかになりました。原子力発電所立地地域や広く国民の原子力への信頼や安心を揺るがす事態になりました。原子力技術の活用、発展に携わる我々は、原子力に関する外部への情報開示や説明責任のあり方、また原子力関連組織の内部の情報伝達のあり方が改めて問われています。

このような問題意識から、今回の「倫理研究会」では技術倫理の観点から、原子力に関する情報開示や説明責任をどう考えるべきか、また内部の情報伝達はどうあるべきか等についてご理解を深めていただければと思っております。また今回は、明らかに倫理的でない事が明白な原子力に係る具体的事例も含め再発防止対策等について、参加者でグループディスカッションを実施するとともに、参加者も含めたパネルディスカッションを行います。

奮ってご参加ください。

<プログラム案> 事情により内容を変更する場合があります。ご了承下さい。

[敬称略]

13:30-13:35	開会/司会(進行計画説明)	(研究会事務局・倫理委員・原子力安全基盤機構)	矢野 眞理
13:35-14:00(25分)	原子力学会倫理委員会活動の現状	(倫理委員会委員長・東北大学名誉教授)	北村 正晴
14:00-14:20(20分)	日本原子力学会倫理規程の状況	(倫理委員会幹事・東京大学)	班目 春樹
14:20-16:10(110分)	ケース・スタディ グループ討議と発表	コーディネーター(倫理委員・原子力安全システム研究所)	作田 博 参加者全員
16:10-16:15(5分)	まとめ	(倫理委員・原子力安全システム研究所)	作田 博
(10分)	休憩		
16:25-17:25(60分)	パネルディスカッション(会場との討議含む) 「原子力の技術倫理と情報開示・説明責任」	モデレーター(倫理委員会委員長・東北大学名誉教授) パネラー(倫理委員会幹事・東京大学) パネラー(三菱重工業㈱ 原子力事業本部 原子力品質・安全監査室) パネラー(倫理委員・経営倫理実践研究センター)	北村 正晴 班目 春樹 宮越 直樹 萩原 誠
17:25-17:30(5分)	まとめ	(倫理委員会副委員長・金沢工業大学)	大場 恭子
17:30	閉会		研究会事務局